**第１回おおさかスマートエネルギー協議会　事業者・家庭部門会議**

**議事概要**

**（１）日　時：**令和元年９月10日（火）14時～16時

**（２）場　所：**大阪府咲洲庁舎41階　共用会議室⑥

**（３）出席者：**

【府民団体等】

大阪府生活協同組合連合会、なにわの消費者団体連絡会、NPO法人関西消費者連合会

【エネルギー供給事業者】

関西電力（株）、大阪ガス（株）、オリックス（株）

【国・自治体】

　近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、大阪市、堺市、大阪府

【関係団体等】

　　（株）エコスタイル、キリンビール（株）、（一社）近畿百貨店協会、不二製油（株）、

積水ハウス（株）

　　【ファシリテーター】

　　　　（有）ひのでやエコライフ研究所　代表取締役　鈴木 靖文

**（４）概要および意見等**

**➀再生可能エネルギーの主力電源化に向けた政策の検討状況について**

**＜再生可能エネルギー政策の主力電源化に向けた課題と展望＞**

〇概要

・近畿経済産業局から、日本の再生可能エネルギーが置かれた現状や主力電源化に向けた課

題と対応等について説明した。

**➁再生可能エネルギーの利用拡大に向けた取組みについて**

**＜RE100に参画する日本企業について＞**

〇概要

・大阪府から、これまでにRE100に参画している日本企業及び参画企業の提言文の紹介をす　るとともに、再生可能エネルギーの調達方法について紹介した。

**＜環境に対する積水ハウスの取り組み＞**

　〇概要

・積水ハウス（株）から、これまでの環境活動の取組みや目標達成状況を説明した。また、新たな取組みであるRE100参画について、その意義と達成に向けた卒FIT後のオーナーの電気を買い取る「積水ハウスオーナーでんき」について紹介した。

○主な意見等

　　　　・卒FIT電気の買取価格が高くないか。また、株主の理解はどうか。

⇒オーナーサービスや卒FIT後の不安解消のため、「オーナーハウスでんき」の価格を提案してい

る。顧客満足度の向上のために取組んでいる。

　 ・同じ顧客サービスという考え方でRE100の達成を目指す企業は現れると思うか。また、RE100参画のメリットはあるか。

　　⇒様々な事業領域があるため、それぞれの戦略の可能性はあると思う。ESG投資という観点で

の評価はプラスになっている。

　・目標を達成した後の余った電力はどうするのか。

　　⇒将来の情勢による。

**＜再生可能エネルギーの利用拡大に向けた取組みについて＞**

　〇概要

・大阪府から、イオン（株）の脱炭素ビジョン及びRE100参画について紹介し、その取組みの一つとして、PPAモデルの取組みを説明した。

**＜自家消費型太陽光発電導入事例 導入後のメリット＞**

　〇概要

・（株）エコスタイルから、太陽光発電の自家消費型の導入事例について紹介した。また、新た

な太陽光発電の導入方法として、注目されるPPAモデルの仕組みやメリットなどを説明した。

**＜再生可能エネルギーの利用拡大に向けて＞**

　〇概要

・「おおさかエネルギー地産地消推進プラン」及び府内の太陽光発電導入量の推移について説明し、再生可能エネルギーの利用拡大に向けた検討の参考とするため、参加企業・団体の取組み状況や課題等について意見交換を行った。

○主な意見等

【電力需要者側】

・工場では、設備更新を行い、省エネに取り組んでいるが、設備導入にあたっては、初期投資が大

きいため難しい。

・太陽光発電の導入を検討した工場があり、コスト面の問題からリース契約での導入を決定した。

再生可能エネルギーの導入にあたっては、補助金の情報があれば紹介してほしい。

・環境問題に対する取組みについては、企業間で大きな差がある状況。

【電力供給者側】

・再生可能エネルギーが普及すればするほど、調整のための火力発電が必要となる。そのため、今後の電力問題を考える上では、電力のピークカットだけではなく、社会全体で使用される電力を抑制していく省エネの視点が重要である。

・創エネ設備のリース契約の場合、事業者の契約期間が長期間なので、経営基盤が問題となる。倒産した場合のリスクを補填する制度があれば、導入が進む可能性がある。

・PPAモデルを推進する場合、公共施設の電力調達では、入札制度や年度ごとの契約のため、提案が難しい状況。費用対効果などを考慮した柔軟な対応を期待したい。

**③その他**

**＜地中熱ポテンシャルマップや事例集の紹介について＞**

　〇概要

・おおさかスマートエネルギーセンターが作成した地中熱ポテンシャルマップ及び事例集について紹介した。

**＜クールスポットモデル拠点推進事業について＞**

　〇概要

・本事業に関する募集（第３回）について紹介した。

以上